

新潟県民医連に加盟する法人・事業所の取り組みを紹介します。

2024年8月27日（火）

発行者：宮野 大

## 8/26新潟県へ 新型コロナウイルス感染症の 拡大に対しての介護事業所からの緊急要請 県内136介護事業所の『賛同書』も提出

8/26、新潟県に対し、『新型コロナウイルス感染症の拡大に対しての介護事業所からの緊急要請』を実施し、新潟県社保協、新潟県民医連、新潟県春闘共闘会議、新潟地区春闘共闘会議の代表者ら11人が参加しました。

（現場からの切実な声）

- ・6月末より感染拡大があり、N95が不足してきている。検査キットも高額。施設でコロナが発生しても、薬代が高額で使用を躊躇するケースが多い。
- ・5類になっても対応は同じ。出勤前の検査をしたいが、今では症状が出る前には使えない状況。
- ・クラスターが発生すると、老健は元に戻るのに3か月を要する。この時期はコロナだけでなく、インフルも疑うので、検査代が高くなる。キットの配布をお願いしたい。また老健では保険対応はできず、全て持ち出しになる。保険を適用するためには、入所者に受診してもらうことになるが、動かしたらすれば死亡するかもしれない。また家族にとってはそれで料金が発生することになるし、薬局に薬をとりに行くことにもなる。本人にも家族にも大変な状況。
- ・ワクチンも高額で接種を躊躇することが予想される。自治体で助成し、インフルエンザ予防接種並みの価格でできるようにしてほしい。
- ・予算がないのは分かるが、予算を組み替えてでも県民のいのちを守る、これができるのは自治体しかない。なんとか検討してほしい。

（県からの回答）

- ・N95マスク等は、5類になる以前、そして昨年度は引き続き配布した。その後は報酬改定でまかなって頂きたいと考えているが、人件費や物価高騰でまかないきれない状況があるのは承知している。引き続き国に要望を伝えていく。
- ・治療薬への助成は自治体では決められないが、全国知事会で軽減策の要望をあげていく。

### （県への要請内容）

1. 感染拡大や高齢者施設等でのクラスター発生、医療機関のひっ迫などの状況について、県や市として積極的に発信してください
2. 高齢者施設や障がい者施設への抗原検査キット、N95マスクの配布を再開してください
3. コロナワクチンの自己負担への補助をしてください
4. 新型コロナ治療薬の自己負担への助成を行うよう、国に求めてください

<お礼>

県内1435事業所に、上記についての「お願い文書」を送り、136事業所より賛同いただきました。  
頂いた声は、要請書と一緒に、県に提出しました。



要望書の手渡し  
新潟県民医連の小網事務局長（写真上）と、新潟県春闘共闘会議の寺崎さん（写真下）

提出した「要望書」はこちら→ <https://x.gd/SUcGb>